

あけましておめでとうございます

緑愛会だより



今年もフロアごとに初詣。天候にも恵まれ、雲ひとつない青空に、心も晴れやかです。「今年もよい年でありますように」と愛宕神社に向かい、皆で手を合わせました。利用者様からお預かりしたお賽銭はその後職員が愛宕神社へ参拝し、賽銭箱に入れました。



第94号

〒190-0161

東京都あきる野市入野811

社会福祉法人 緑愛会

指定介護老人福祉施設

あたご苑

あたご苑 ケアハウス

ご挨拶



常務理事

奥秋 利郎

あけましておめでとうございます。

衆参両院では昨年の11月に「気候非常事態宣言」の決議を採択し、菅義偉首相は2050年までに温暖化ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げ、与野党が脱炭素という世界的な課題に臨む姿勢で足並みを揃えた。

温暖化の影響などで豪雨や山火事などの災害が相次ぎ、この決議文には「気候変動の枠を超えて気候危機の状況に立ち至っている。」と記されている。本年3月には東日本大震災の原子力発電事故から10年を迎える。

中国湖北省武漢市で最初に新型コロナウイルスの感染者が発症してから1年が過ぎてなお、世界で感染拡大が止まらない。12月31日迄に感染者数は270万人、死者数は180万人を超えた。各国での人の移動や集まりが増える中、年明け早々のさらなる感染爆発に警戒が強まっている。

新型コロナウイルス感染症のワクチンと同様に脱炭素社会の実現につながる技術は人類共通の財産である。これまでエネルギー政策は、原子力や火力など効率の高い大規模な発電所を重視してきたが、そうした価値観を転換すべき時で脱炭素はその象徴になると考えます。

新型コロナウイルス感染拡大防止と、脱炭素宣言の確立に向け、心を一つにして頑張りましょう。

ご挨拶



施設長

増田 俊一

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、ご入所の皆様やご家族様、そして地域の皆様には温かいご支援とご協力を賜り、心からの感謝とお礼を申し上げます。

また、昨年の8月に当苑で発生しました新型コロナウイルス感染症につきましては、特段のご理解とご支援を賜り、本当にありがとうございました。

振り返りますと、昨年の8月17日(月)午後6時過ぎ、「新型コロナウイルス感染症の疑いでPCR検査を今日受けた職員がいる。」との連絡が1階の事務室に入ったのが事の始まりでした。まず第一に、感染を拡大させないために給食室職員を全員自宅待機とし、厨房を翌朝から閉鎖いたしました。次に「利用者の皆様の食事の手配です。このことについては、当苑の役員の紹介でいち早く朝食・昼食・夕食とも手配することができました。」

その後につきましては、ご案内のように、電話、お手紙、そしてホームページ等にて随時ご報告させていただいた通りでございます。

この体験を教訓にして、あたご苑独自のBCP(事業継続計画)の完成を目指して、職員一同、心を一つにして頑張っているところです。関係各位の皆様、本当にありがとうございました。改めて、心から感謝申し上げます。

本年も、変わらぬ皆様のご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。